

UNRWA 60周年



「UNRWAの存在がなければ、中東の平和と安定への道は、間違いなく、より一層困難なものであったことでしょう」

－ 潘基文 (パン・ギムン) 国連事務総長 －

「パレスチナ人の近年の状況、そして現在も抱えている諸問題は、茨の道ではありますが、それが未来を描く唯一の基準ではありません。未来はむしろパレスチナ人の持つ豊かな社会・文化的遺産から広がっていると私は考えます。また彼らが持つ知識や学習、専門技術への高い関心、経済的な自立を実現する力といった可能性から未来が開かれると思います。こういった特性や大多数のパレスチナ人が持つ

平和への真の希求にこそ、未来の希望が託されているのです。

UNRWAは今後も人材の開発、中立の重視、非暴力および全ての人々への人権の尊重へのコミットメントを通して、このような可能性をこれからも育む取り組みを続けていきます」

－ カレン・コニング・アブザイード UNRWA事務局長 －

UNRWA 60周年

60周年を迎えるUNRWA

中近東のパレスチナ難民救済事業機関（以下、UNRWA）は、2009年12月8日を以て発足60周年を迎えます。UNRWAは、1948年のアラブ・イスラエル紛争後、パレスチナ難民のための直接的な救済と事業を行うため国連総会によって設立されました。現在、470万人のパレスチナ難民がヨルダン、レバノン、シリア、ガザ地区、および東エルサレムを含むヨルダン川西岸地区の5つの地域に居住し、UNRWAの活動対象となっています。

UNRWA設立60周年は、パレスチナ難民について冷静に省察する機会となる一方、パレスチナ難民に対して数世代に渡って行われてきた同機関の活動について振り返る契機でもあります。UNRWAは初等教育、医療、社会サービス、住居の建設および補修、インフラ整備、小規模融資事業など、個人レベルおよびコミュニティ・レベルでパレスチナ人の生活に積極的に関わってきました。UNRWAの活動は、知識・技能の習得、健康で長生きな生活、人間らしい生活水準の達成、そして可能な限りの人権の享受を支援することで、パレスチナ難民の人間開発に関する国際的な取り組みを具体的に示しています。

習得した知識と技能

比較的平和な時代においても、また中東紛争の時代においても、多くのパレスチナ難民の子ども達は、UNRWAの学校で初等から教育を受けてきました。今日、UNRWAは中東で最大規模の教育機関を運営しています。689校で50万人の子ども達が無償で教育を受けており、教育従事者は2万2,000人を数えます。

UNRWAは、常に男女平等の教育機会の提供を優先させ、設立当初から積極的に女子を受け入れてきました。1951年の女子生徒の比率は26%でしたが、1960年代には男女間の比率が同率になり、現在に至っています。

UNRWAについて

UNRWAは、ヨルダン、レバノン、シリア、ガザ地区、東エルサレムを含むヨルダン川西岸地区に住む約470万人のパレスチナ難民が、その苦悩に対して公正で恒久的な解決が見出されるまで、人間開発に十分な可能性を達成できるよう援助をしています。例えば教育、医療、社会サービス、コミュニティ支援、インフラと難民キャンプの改善、小規模融資、および武力衝突の際の緊急支援など、様々な人間開発や人道支援を行っています。また、UNRWAの役割には、パレスチナ難民が必要とする人権と保護のニーズに関する唱道・支援活動も含まれます。UNRWAの運営資金のほぼ全てがドナー国からの任意の拠出金で成り立っています。UNRWAの2009～2010年の通常予算は12億3,000万ドル。本部はガザシティとアンマンにあります。

長寿と健康な生活

一次医療分野でのUNRWAの活動は、多大な成果をあげてきました。パレスチナ難民の困難な生活状況にも関わらず、ワクチン接種により予防可能な疾病やその他の伝染病を抑えることができました。1960年代から2006年までの間の乳児死亡率は16%から2.2%へと減少し、世界保健機構（WHO）が中所得諸国に据える目標値をクリアしました。UNRWAはメンタルヘルスケア、理学療法、リハビリなどを含む多くのサービスを設けることで、難民の変化するニーズに応え、長らく武力衝突の影響に対応してきました。

今日、UNRWAの保健医療プログラムは母親と子どものケア、家族計画、疾病予防に注力し、137カ所の施設で専従医師および約4,000人の医療従事者が活動しています。UNRWAの診療所では現在、年間950万人の外來患者を診察しています。

人間らしい生活水準

UNRWAは、難民に経済的な機会が訪れた際には、そのチャンスをつかむための能力向上において大きな役割を果たしており、多くの人々が失業と貧困を回避できるよう貢献してきました。1962年には、アラブ世界初の女性専門職業訓練所である「ラマラ女性職業訓練センター」を開設しました。現在、UNRWAは職業技術訓練センターを10カ所で運営しています。時の経過と共に、6万人以上の難民が技術職業訓練コースを修了し、就職に必要な技能を習得しています。

UNRWAの小規模融資局は、経済発展の促進およびパレスチナ難民の貧困軽減を目的として1991年に設置されました。同局は特に女性、低所得家庭、零細起業家を対象とした商品を含む包括的な金融サービスを提供しています。これらのサービスは雇用機会の創出と維持、女性の社会的地位の向上、世帯資産の増大に役立っています。サービス開始以来、2万人以上の難民が同プログラムのサービスを受け、17支部のネットワークを通じた融資件数は10万件に上がっています。

1983年以来、UNRWAの救済・社会サービス局では、最貧困層を対象に緊急時の現金立替補助金や一時的な収容施設のほか、食料提供や金銭的補助などの基本的支援も実施しており、現在26万件的特別困窮者支援を行っています。この他、地域開発による自立支援および貧困削減にも取り組み、65カ所の女性センターと37カ所のコミュニティ・リハビリテーション・センターを設立しました。主に女性、障害者、若者、老人がこのセンターで恩恵を受けています。

今日、UNRWAの運営する58カ所の難民キャンプには、140万人が暮らしています。これまでに修復したシェルターは、約1万3,500戸に上ります。2006年には、キャンプに住むパレスチナ難民の生活条件における課題に対処する目的で「難民キャンプの改良・インフラ計画」が策定されました。

UNRWAは、過去60年以上にわたり、非常時が難民の生活に及ぼす影響の緩和に努めてきました。2008年だけでも、ヨルダン川西岸地区、ガザ地区およびレバノン北部にある19万5,000以上の難民世帯に緊急支援を行いました。また、ガザ地区にあるUNRWAの学校の全生徒20万人を対象として給食プログラムを導入した他、3万世帯に1,200万ドルの現金支援を行い、5万6,000人の難民に300日分の雇用を創出しました。

人権の享受

パレスチナ難民の人権に対して関心が集まることは、UNRWAの人間開発や人道支援事業にとって大変重要です。UNRWAの事業計画や活動を通じて、難民は教育、医療・人間らしい生活水準、ビジネス・チャンスおよび生存権に関して、人権の適用を実際に経験しています。UNRWAの難民保護の役割には、国際世論の支持を取り付けること、つまり国際法に基づいてパレスチナ難民の権利を主張することと共に、国際人道法および人権条約が課す義務を政治関係者に再認識してもらうということも含まれています。